

◎市立学校の校名について

1 教育環境整備の状況

(1) 統合決定後における保護者説明会、合同学校運営協議会等の開催状況

統合決定後、保護者や地域への説明会を開催するとともに、両地域の学校運営協議会を合同で開催し、情報共有や意見交換を行いました。

ア 保護者や地域への説明会

内 容	開 催 日
走水・馬堀地域地域説明会	令和6年2月18日（日） 19日（月）
第1回走水小学校保護者説明会	令和6年4月25日（木）
第1回馬堀小学校保護者説明会	令和6年5月17日（火）
第2回走水小学校保護者説明会	令和6年7月27日（土）
第2回馬堀小学校保護者説明会	令和6年7月31日（水）

イ 合同学校運営協議会

内 容	開 催 日
第1回走水小・馬堀小合同学校運営協議会	令和6年4月11日（木）
第2回走水小・馬堀小合同学校運営協議会	令和6年6月12日（水）
第3回走水小・馬堀小合同学校運営協議会	令和6年7月24日（水）

(2) 統合決定後における取り組み状況

ア 通学の安全について

(ア) 京急バスの通学定期券代の全額助成

【助成対象者】

- ・現走水小学校区の全児童
- ・1・2年生及び特別支援学級の保護者の内、付き添いが必要な方

【助成期間】

- ・統合後12年間（令和7年度から令和18年度）

(イ) バス停における児童の見守り

バス停に見守りを配置し、児童が安全にバスを待てるようにします。

(ウ) バス車内における対策

バス車内で痴漢等の対策や抑止力のため、児童へ防犯ブザーを配布します。統合初年度以降は、従来どおり入学時に新1年生へ配布します。

(エ) 答申の付言において指摘されている全市的な遠距離通学に対する方策については、別途検討します。

<参考>路線バス（想定）

- ・登校時のみ学校の開始時間に合わせてダイヤを改正。（時間変更）

○登校時

南谷戸 (発)	7時47分	時間変更 8時7分 8時12分
↓	↓	↓
馬堀中学 (着)	7時52分	8時12分 8時17分

イ 教育課程等について

現在、教育課程の調整や行事等について、各学校で検討を行っています。

ウ 事前交流について

各学校の実情に応じて、随時、児童間・学校間の交流等を実施、検討しています。

エ PTA等について

学校、保護者において、順次、調整を行っています。

オ 閉校式等について

学校名の決定後、令和7年3月の閉校式等の実施に向けて、検討、準備を行います。

カ 跡地利用について

財務部が中心となり、地域活動団体等の代表者による協議会等の開催に向けた準備を行います。

キ 学校開放について

跡地利用の運用等が始まるまでの当面の間は、施設の利用ができる見込みです。

2 校名検討について

(1) 経緯

統合後の現馬堀小学校の校名については、走水小学校と馬堀小学校の児童、保護者、地域が対等な関係で統合することを念頭におき、両小学校の学校運営協議会を合同（合同学校運営協議会）で開催し、候補となる校名の検討を行いました。

合同学校運営協議会において候補となる校名の検討にあたっては、まず走水・馬堀地域の児童、保護者、地域等に対し、校名候補の募集を行い、184件、71候補の応募をいただきました。

その後、令和6年6月12日に開催した合同学校運営協議会において、応募いただいた候補から今回議案として提出した17候補の校名を決定しました。

(2) 校名候補の募集について

ア 校名募集の概要

(ア) 実施期間

令和6年4月26日～5月31日

(イ) 対象

- ・走水小学校・馬堀小学校に通学している児童・保護者
- ・馬堀中学校に通学している生徒
- ・走水小学校区・馬堀小学校区にお住まいの方 など

(ウ) 応募方法

- ・児童、生徒は学校から配布し、投票箱（学校に設置）にて応募
- ・地域は町内会からの回覧等により周知し、郵送等にて応募
- ・上記のほか電子申請システムでの応募も可能

イ 結果

(ア) 応募数 184件

紙による応募数 86件

電子による応募数 98件

(イ) 校名候補数

71候補 ※詳細は、別添1参照

(ウ) 応募状況

応募者	応募数	比率
走水小学校の児童	4	2%
走水小学校の保護者	7	4%
走水小学校区の住民	39	21%
馬堀小学校の児童	39	21%
馬堀小学校の保護者	21	11%
馬堀小学校区の住民	38	21%
馬堀中学校の生徒	12	7%
その他	20	11%
未回答等	4	2%
総計	184	100%

(3) 合同学校運営協議会での絞り込み

応募のあった 71 候補から合同学校運営協議会で協議の結果、17 候補に絞られました。

ア 校名候補一覧

- ・あおぎり（あおぎり）
- ・池月（いけづき）
- ・海の子（うみのこ）
- ・シーサイド（シーさいど）
- ・潮風（しおかぜ）
- ・走馬（そうま）
- ・橘（たちばな）
- ・走水馬堀（はしりみずまぼり）
- ・浜（はま）
- ・ひかり（ひかり）
- ・広（ひろ）
- ・馬走（まそう）
- ・馬堀（まぼり）
- ・まぼり（まぼり）
- ・馬堀海岸（まぼりかいがん）
- ・馬堀走水（まぼりはしりみず）
- ・明生（めいせい）

イ 合同学校運営協議会等での主な意見

- ・両小学校、両地域が対等に一緒になる統合だということで、校名は決定していただきたいです。
- ・走水地区の方は、走水小学校が馬堀小学校に統合するという意味ではない、ということを強く意識していたと思います。
走水小学校と馬堀小学校が統合するという意味で、新しい校名を考えた方が良いという方が何人かいらっしゃいました。走水、馬堀に縁のない新しい名前の候補も大切にしてほしいです。
- ・校名を決定した時の理由は、前向きな理由であってほしいです。
- ・近い将来、小中一貫教育校になる可能性もあると思います。
小中学校が一番隣接しているのは馬堀小学校と馬堀中学校だと思います。そのようになったときを考えて、また、将来的に望洋小学校の統合も考えて、名前を改めて考えるとエネルギーを使うのではないかと思いますので、馬堀で良いと思います。
- ・校名が変わると、避難所になっているので案内も変えなければいけないし、地区の地図も全部変更しなければいけない、関わり合ってくる変更というのは、全て予算がかかります。校名を変更しなければ、その予算を別のことに使えます。
- ・素敵な校名になったときに、京急電鉄が校名に駅名を変えてくれるぐらいしてくれたら、町は教育面で盛り上がるのかなと思います。

(4) 校名候補の協議に当たっての視点

	項目
1	一般的な読み方ができなかったり、読み方が何通りもできる校名でないこと。
2	他の地域に類似の校名がなく、誤解されることがないこと。
3	地理、歴史、自然環境など、その学校が持つ特色等に合っているか。
4	校名をつけた理由が明確であるか。
5	両校の児童や地域が親しみやすく、受け入れやすい校名か。

(5) 校名候補

N o	校名候補（よみかた）
1	あおぎり（あおぎり）
提案理由 （応募理由 含む）	○小学校にあおぎりの木がありシンボリックな存在である。 ○以前、支援級のクラスに「あおぎり学級」とつけており、なじみのある名前である。 ○あおぎりは水気が多いことから火事からも守ってくれる強いイメージもある。 ○また広島のパネル記念公園にもあり平和的なシンボルとしても知られている木である。

N o	校名候補（よみかた）
2	池月（いけづき）
提案理由 （応募理由 含む）	○走水と馬堀は、どちらもヤマトタケルと池月で繋がっている。ヤマトタケルが乗っていた馬の『池月』。馬堀の地名の由来になっている名馬であり、児童はこの名馬の伝説を在学時に学ぶ。 ○小学校の名前ということで、『池月』は児童の皆さんが書きやすい漢字である。 ○小学校がある地区の歴史に関係がある名前のほうが受け入れやすい。

N o	校名候補（よみかた）
3	海の子（うみのこ）
提案理由 （応募理由 含む）	○馬堀は元々海水浴場だったため、海のすぐ近くの恵まれた環境で、子供たちが健やかに成長することを願って。 ○走水と馬堀の海を愛する気持ちと、子供たちにも思い出に残る名前が良い。 ○校名は、走水馬堀両校に対等となる名称であるべきで、世界や未来に繋がる明るい「海」にちなんだ名称が良い。調べた限り全国にない「海の子小学校」がはつらつとしたイメージも加味された名称である。

N o	校名候補（よみかた）
4	シーサイド（シーさいど）
提案理由 （応募理由 含む）	○馬堀、走水地域が海辺に一番近い小学校であり、住宅が海辺に面している。 ○シーサイドという英語表記は、国際交流が盛んな、世界と繋がっている横須賀の特色を表現している。 ○シーサイドマラソンが開催されているので、親しみがある。

N o	校名候補（よみかた）
5	潮風（しおかぜ）
提案理由 （応募理由 含む）	○馬堀小学校も走水小学校も海に近く、穏やかで優しい感じの校風である。「潮」の漢字は、さんずいに朝と書くので、学校で学ぶ子どもたちも、太陽が昇るように明るく大きく暖かな心を持って成長してほしい。 ○潮風はさわやかな風の意味。潮風は季節感をより一層感じさせてくれる。潮風を感じ海の音、波の音を感じ心豊かに育てほしいと想いをこめて。

N o	校名候補（よみかた）
6	走馬（そうま）
提案理由 （応募理由 含む）	○2つの学校の一文字を入れて、どちらの漢字も残すことで対等な統合であることを名前から示し、地域の人に馴染む名前。 ○両校名の歴史的な由来を尊重すべき。それぞれの土地への愛着を感じられる。 ○『馬のように元気に走りまわる子供達』、『走る馬のようにかっこいい、爽快感のイメージ』、『真っ直ぐに突き進むイメージ』を連想できる。 ○未来に向かって「池月」の名馬のように力強く疾走していった欲しいという願いを込めて。 ○呼び方が言いやすい。

N o	校名候補（よみかた）
7	橘（たちばな）
提案理由 （応募理由 含む）	○馬堀小学校付近の山には、柑橘系（みかん、たちばな）の木が生息していた事にちなんで。日本書紀の神話に登場する柑橘系の木、すぐに散る桜とは対比的に「永遠性・永続性」の象徴と考えられている。 ○横須賀最古の伝承である弟橘媛命伝説から、両校に由来があるため。 ○151年の歴史がある、走水小学校の校歌にもある

N o	校名候補（よみかた）
8	走水馬堀（はしりみずまぼり）
提案理由 （応募理由 含む）	○両校の名を残すため。共に歴史があり消すことが出来ない。 ○走水小と馬堀という地の両方を維持して欲しい。

N o	校名候補（よみかた）
9	浜（はま）
提案理由 （応募理由 含む）	○走水の「は」と馬堀の「ま」を取って。両校とも海岸の側、浜をイメージしやすいため。

N o	校名候補（よみかた）
10	ひかり（ひかり）
提案理由 （応募理由 含む）	○子供達の未来が光り輝いていて欲しい。 ○海や山々が光り輝き、地域の子どもも大人も光り輝く、みんなでつくる新しい学校。子どもの笑顔に満ちあふれて、まぶしい未来、光り輝く未来をイメージして。

N o	校名候補（よみかた）
11	広（ひろ）
提案理由 （応募理由 含む）	○広い(幅広い)小学校だから。 ○子どもたちの成長に対する思いを込めて。色々なことに興味を持って、広く知識を付けてほしいから。

N o	校名候補（よみかた）
12	馬走（まそう）
提案理由 （応募理由 含む）	○母校の校名が、一文字でもあってほしいと願いがある。両校の頭文字を取って。読み方は、まそう又はばそう。(の)ばそう＝伸ばそうという成長の意も込め。 ○統合した事が後々分かりやすい校名が良い。

N o	校名候補（よみかた）
13	馬堀（まぼり）
提案理由 （応募理由 含む）	○地名と同じ校名がわかりやすい。 ○中学校が側にあること、また、将来の小中一貫教育を見据えて、校名を合わせた方が良い。 ○将来の教育環境整備を踏まえ、他地域でも毎回統合時に校名を変更することになるため、校名は変更しない方が良い。 ○校名の変更や、所在地と関係のない校名にすると、バス停名や信号機名、民間の商店企業、災害避難時の混乱等、生徒や学区の住民だけでなく広く影響が及ぶ可能性がある。 ○予算等の面から、変更しない方が良い。

N o	校名候補（よみかた）
14	まぼり（まぼり）
提案理由 （応募理由 含む）	○平仮名表記にすることで、一年生にも優しい校名になる。柔らかい印象になるとともに、これまで親しまれている地域の名前を残すことにもなる。

N o	校名候補（よみかた）
15	馬堀海岸（まぼりかいがん）
提案理由 （応募理由 含む）	○馬堀海岸駅が最寄り駅で、その駅名にちなんで分かりやすい。 ○馬堀小学校、走水小学校の間の町名になるため。 ○他地域の方は、駅名から、この辺りを馬堀海岸として認識されている。

N o	校名候補（よみかた）
16	馬堀走水（まぼりはしりみず）
提案理由 （応募理由 含む）	○馬堀も走水も名は残してほしい。両校が合併するのに一番分かりやすい名前とし、所在地が馬堀町のため馬堀を先にした。 ○地域とは全く関係ないような名称とはせず、双方共に由緒ある地名で末永く後世に伝えたい。

N o	校名候補（よみかた）
17	明生（めいせい）
提案理由 （応募理由 含む）	○二校が合流し新しい校風を作っていくため。 ○明るく楽しく生き生きと育てほしいという思いを込めて。

※走水小学校、馬堀小学校の通学区域図は、別添 2 参照